



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 11日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府中央区南船場一丁目14番
氏名 大成建設株式会社 関西支店
執行役員支店長 足立 憲治
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-6265-4610

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成建設株式会社 関西支店（吹田市管轄内事業場）		
事業場の所在地	吹田市管轄区域内		
事業の種類	06：総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2500.000 t	全処理委託量	2500.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	2500.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

別紙3のとおり

有価物量

不買物等発生量

排出量

② 自ら直接再生利用した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑥ ④のうち熱回収を行った量

⑩ ⑥のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑦ ④のうち熱回収により減量した量

⑪ ⑦のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
① 排出量	
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ ④のうち熱回収により減量した量	
③+⑧ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	
⑩ 再生利用業者への処理委託量	
⑩ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑩ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和6年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										委託先による区分				⑫+⑬	⑭+⑮
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(自ら熱回収を行った量)	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(全処理委託量)	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(優良認定処理業者への処理委託量)	⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量(再生利用業者への処理委託量)	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量(熱回収認定業者への処理委託量)	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(熱回収を行う業者への処理委託量)	⑮⑩のうち埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
コード	名 称																
100	燃え殻							0.000							0.000	0.000	
200	汚泥							0.000							0.000	0.000	
300	廃油							0.000							0.000	0.000	
400	廃酸							0.000							0.000	0.000	
500	廃アルカリ							0.000							0.000	0.000	
600	廃プラスチック	20.400						0.000		20.400	20.400	0.000			0.000	0.000	
700	紙くず							0.000							0.000	0.000	
800	木くず	38.400						0.000		38.400	38.400	38.400			0.000	0.000	
900	繊維くず							0.000							0.000	0.000	
1000	動植物性残渣							0.000							0.000	0.000	
1100	ゴムくず							0.000							0.000	0.000	
1200	金属くず							0.000							0.000	0.000	
1300	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	7.400						0.000		7.400	7.400	0.000			0.000	0.000	
1500	がれき類	184.500						0.000		184.500	184.500	0.000			0.000	0.000	
1501	コンクリート破片	950.100						0.000		950.100	237.100	950.100			0.000	0.000	
1502	アスコン破片	933.800						0.000		933.800	12.800	933.800			0.000	0.000	
1322	廃石膏ボード	6.900						0.000		6.900	6.900	0.000			0.000	0.000	
2200	管理型混合廃棄物	316.200						0.000		316.200	316.200	0.000			0.000	0.000	
合計		2,457.700						0.000		2,457.700	823.700	1,922.300					

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。
様式第二号の第九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑮)に示す量を表に入力。